

伊藤忠グループにおける 宇宙事業の取り組み

伊藤忠商事 航空宇宙部



ひとりの商人、無数の使命



ITOCHU at a Glance



■ 会社概要(2024年4月時点)

創業:	1858年
設立:	1949年12月1日
本社:	東京/大阪
オフィス:	国内 7/ 海外 86
従業員数:	4,190人 (連結: 113,733人)
格付:(長期)	Moody's A2 (安定的) S&P A (安定的)
時価総額: (2024年4月1日時点)	10.199 兆円
収益:	14.03 兆円
当期純利益:	8,018 億円

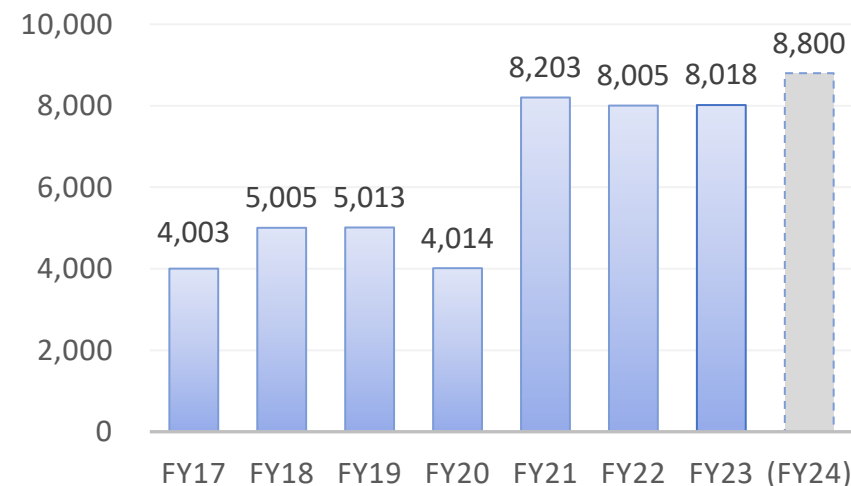
■ 企業理念“三方よし”:



- ・「売り手よし」
- ・「買い手よし」
- ・「世間よし」



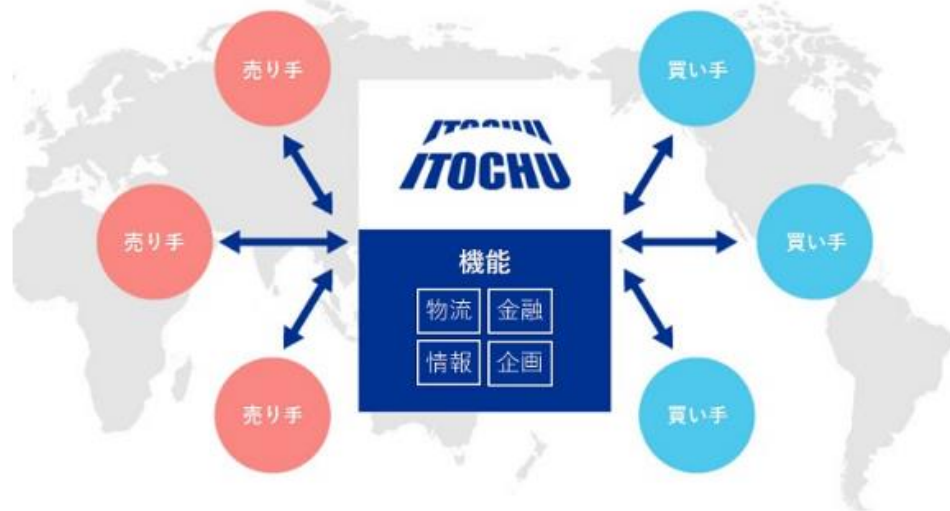
■ 決算状況 (単位:億円)



■ 国内/海外拠点



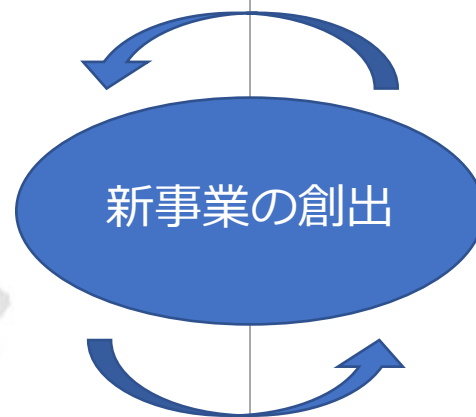
トレード



商売の売買・仲介

- 商品の売買・仲介を通じて顧客やパートナーと関係性を構築。
- あらゆる商材の販売チャネルと情報ネットワークをグローバルに張り巡らせて事業展開。
- 物流や金融等の機能を提供するなど、川上から川下まで様々なフェーズに関与。

事業投資



投資先の企業価値向上やシナジーの創出

- 様々な分野・地域において事業投資を実行
- 投資先に対する経営資源（人材・資金・情報・ビジネスノウハウ等）の投入、事業再編の実行等を通じて、投資先の企業価値向上に取り組む
- 基本的には継続保有を前提に投資。

組織概要 / 機械カンパニー（航空機・安全保障関連）



2024年4月1日付

伊藤忠商事株式会社
代表取締役社長COO 石井 敬太



機械カンパニー
プレジデント 都梅 博之
(代表取締役副社長執行役員)



スカパーJSAT株式会社
(衛星通信、メディア)

プラント・船舶・航空機部門
部門長 東山 英一郎



自動車・建機・産機部門

船舶海洋部

航空宇宙部

都市環境・電力インフラ部

航空宇宙第一課
(防衛航空機・エアモビリティ)

航空宇宙第二課
(防衛装備品・宇宙安全保障)

航空宇宙第三課
(航空機リース)

航空宇宙第四課
(民間航空ビジネス)

伊藤忠アビエーション株式会社

ITOCHU Aviation, Inc.

株式会社ジャムコ
(航空機内装・航空機整備)

日本エアロスペース株式会社
(航空・防衛・セキュリティ機器販売)

● 通信衛星事業

- 1985年日本通信衛星企画株式会社（後のJSAT）を設立
- 1989年通信衛星 JCSAT-1を打ち上げ。
- 現在、10基以上の通信衛星を保有し世界第5位（アジア首位）の衛星系電気通信事業会社

● 新興宇宙関連企業への積極的な関与

- 伊藤忠商事より直接もしくはJSATを介した間接的な投資により国内および海外の優良新興宇宙企業へ投資及び業務提携を展開。
- 民需・官需の両領域で事業関与。

● グローバル規模で優良宇宙関連ビジネスの発掘

- 米国・シリコンバレーをはじめ全米及び全世界に広がるネットワークを活用し、宇宙関連企業の発掘及び協業関係を構築。





- 100機以上の自社製・電波情報収集衛星を運用中。客先向けの専用衛星の設計・製造も受託可能。
- 電波情報は、情報機関向けインテリジェンス情報、船舶や航空機の追跡、気象予報等に活用。

社名

Spire Global Inc.

設立年度

2012年

所在地

米国、英国、シンガポール

資本金

110百万ドル

代表取締役

Peter Platzer

事業内容

超小型衛星製造および
電波情報収集衛星を用いた各種サービス

主要出資元

The Vanguard Group、Kent Lake
Capital、伊藤忠商事、等

事業内容

RFデータを1日に24百万以上取得。自社で32か所の地上局を保有し、顧客は専用インフラの構築なくデータをサブスクとして利用可能。

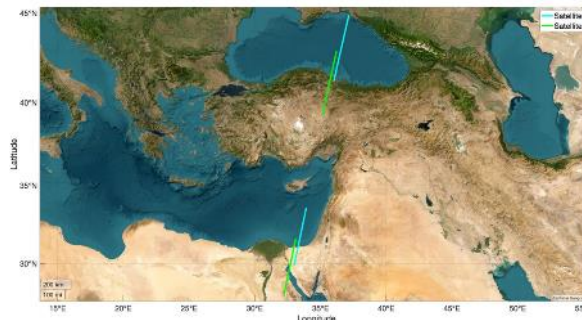
例) 海洋状況監視分野

船舶の識別および航行状況把握。



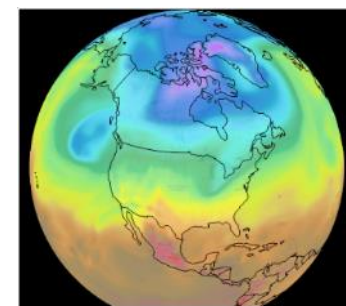
例) ELINT分野

特定周波数帯の電波情報を提供。
発信源の位置特定なども可能。



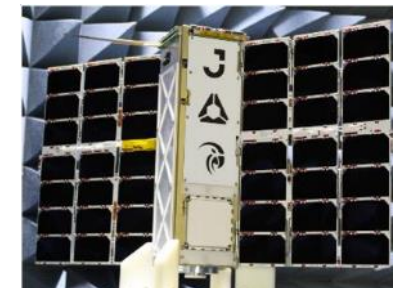
例) 気象分野

電波掩蔽観測手法により大気状況を把握。
気象予測モデルと組み合わせて気象予報。



例) 客先ペイロードの運用

ニーズに合わせた専用ペイロードを搭載。
光学観測向け等でも採用実績あり。



- 2023年よりカタール環境省向けにオイル漏れ検知サービスをKSAT、スカパーJSAT、伊藤忠の3社共同でサービス提供開始。
- 内閣府が主催する「第6回宇宙開発利用大賞」の環境大臣賞を受賞。



伊藤忠商事

会社情報 | ニュース | IR (投資家情報) | リスナービリティ | 採用

Eng

伊藤忠商事とスカパーJSATが、内閣府主催「第6回宇宙開発利用大賞」環境大臣賞を受賞

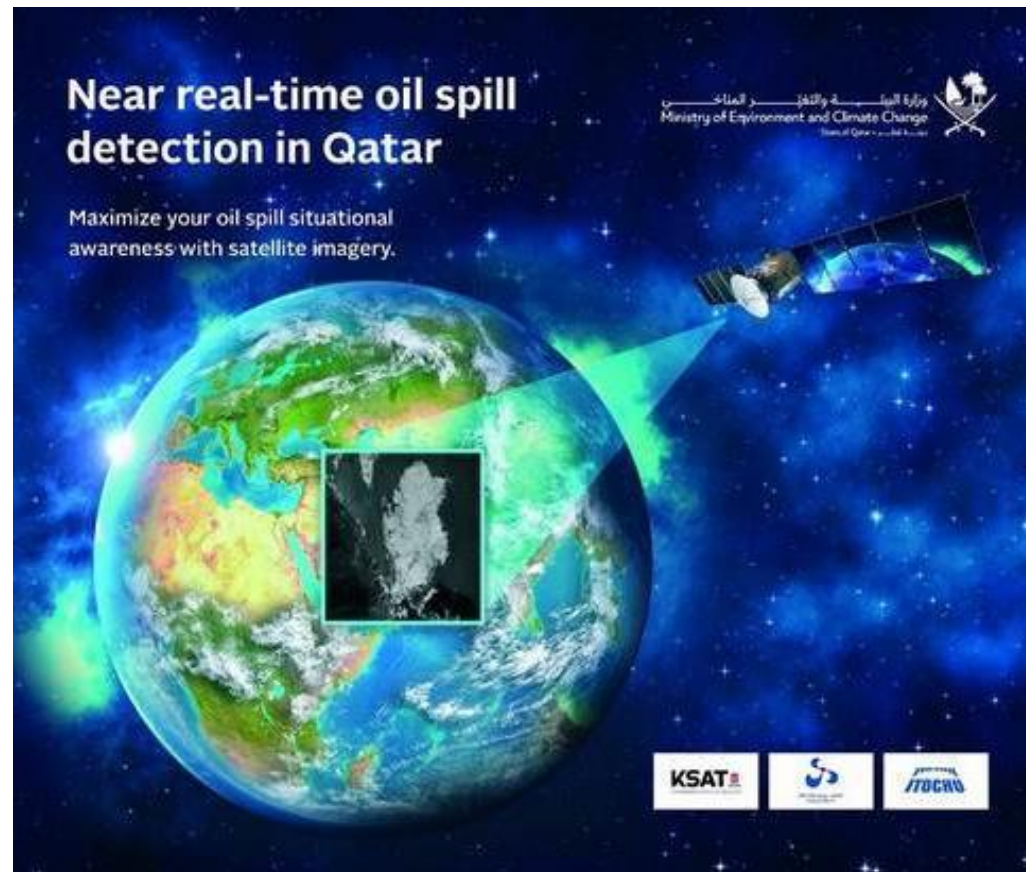
2024年2月27日

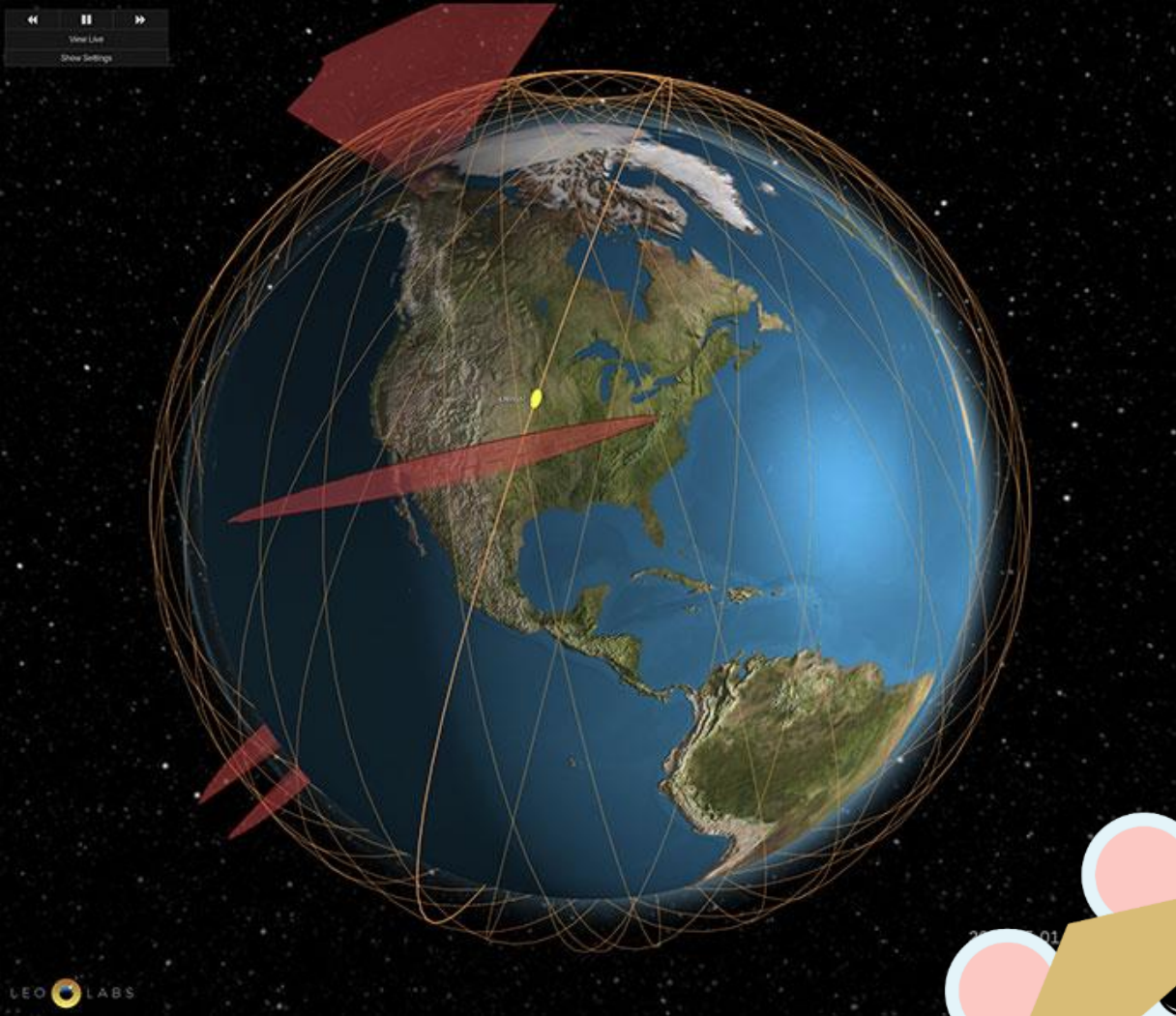
(3月13日 下部更新) 「伊藤忠商事とスカパーJSATは、2024年3月12日に日経ホールで行われた表彰状授与式に参加しました。」

=====

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）と、スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：米倉 英一、以下「スカパーJSAT」）は、内閣府が主催する「第6回宇宙開発利用大賞」の環境大臣賞を受賞しました。宇宙開発利用大賞は、内閣府が主催する宇宙開発利用の推進において大きな成果を収め、先導的な取組を行った企業やプロジェクトを表彰する制度です。

今般、伊藤忠商事とスカパーJSATが共同で、カタール環境省（Ministry of Environment and Climate Change、以下「カタールMECC」）に対して提供したSAR^{*}衛星画像を活用した海上オイル漏れ検知サービスが、海洋環境保護の視点から特に顕著な功績があったと認められました。





Question ?

ご清聴ありがとうございました

